
「シャント音の音響的特徴量抽出と SVM を用いた機械学習による

シャント狭窄検出方法の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で外来透析を施行している患者さんのシャント音を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、**埼玉医科大学病院 IRB** の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年1月1日から2023年4月30日の期間に【埼玉医科大学病院】で外来維持透析を施行し、自己血管内シャント(AVF)を使用しており、定期的なシャントエコー評価を行っている40歳以上100歳以下の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

シャント音の音響的特徴量として、人間の聴覚特性を考慮した係数を抽出し、その係数を用いた機械学習によって、シャント狭窄を検出することを目的としております。

3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2024年4月30日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学病院】において、研究責任者である岡田 浩一が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

透析患者さんの透析施行前のシャント聴診時に得られたシャント音とシャントエコー検査施行時に記載した診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田 浩一（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

○研究課題名：シャント音の音響的特徴量抽出と SVM を用いた機械学習によるシャント狭窄検出方法の検討

○研究責任者：埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田 浩一